

- 1959 (S34) ○ 四国電力(株)技術研究所設置
- 1964 (S39) ○ 小型電気温水器を電力会社で初めて開発、全国的な電気温水器普及の端緒をつくる
- 1979 (S54) ○ 技術研究所を総合技術開発研究所に改称(1986、総合開発研究所に改称)
- 1987 (S62) ● 総合開発研究所を独立し、(株)四国総合研究所設立**
- 1988 (S63) ○ 配電線活線作業ロボットを開発・透水平板を開発
- 1990 (H2) ○ 西条太陽光発電試験設備(1,000kW級)を用いた電気事業大の共同研究を受託
- 1993 (H5) ○ 多機能型電気自動車「PIVOT」を開発
- 1995 (H7) ○ 高知県窪川町に植物工場を建設し、実証試験を開始
- 1998 (H10) ○ ・次世代双方向遠隔監視・制御システム「オープンブラネット」を開発
・イチゴの新品種「スマイルルビー(四季成り性品種)」、「スマイルハート(耐病性品種)」を開発
- 2001 (H13) ○ 水電解型水素供給ステーション(NEDO 事業)の実運用試験を受託(～2005年度)
- 2002 (H14) ○ 防食スプレーを開発・柚子粉末の製造開始
- 2003 (H15) ○ ・生物式水質監視システム「メダカ de モニター」を開発
・「家庭用自然冷媒給湯機」がグッドデザイン賞を受賞
- 2004 (H16) ○ コンクリート柱用鉄筋破断非破壊診断装置「CPチェッカーM[®]」を開発
- 2005 (H17) ○ 水素火炎・ガス可視化装置を開発
- 2006 (H18) ○ 送電鉄塔補修用長寿命塗料「タワーバリアー」を開発
- 2007 (H19) ○ DNA解析を利用した魚卵識別技術を開発
- 2008 (H20) ○ ・山間地送電鉄塔補修用長寿命塗料「ガルバタワーLL」を開発
・一般コンクリート構造物用鉄筋破断非破壊診断装置「M.EYEチェッカー[®]」を開発
- 2009 (H21) ○ ・植物病害抵抗性誘導用緑色光源「みどりきくぞう[®]」を開発
・火力発電所電気集塵装置へのCVケーブル適用を実用化
- 2010 (H22) ○ ・風力発電出力予測システムを開発
・電気自動車用普通充電スタンドを開発、運用試験開始(～2013年度)
・オンデマンド・モニタリングシステム「openATOMS[®]」を開発
- 2012 (H24) ○ ・経済産業省の補助事業「小型光学式マルチガスセンサの製品化研究」を受託
・福岡水素エネルギー戦略会議の支援事業「レーザーによる小型遠隔水素検知システムの研究開発」を受託
- 2013 (H25) ○ 栽培環境モニタリングシステム「ハッピーマインダー[®]」を開発
- 2014 (H26) ○ ・近赤外光を用いた青果物鮮度保持技術「iRフレッシュ[®]」を開発
・太陽光発電出力実績推定・予測システムを開発
- 2016 (H28) ○ 送電鉄塔塗装システム「タワーテクト」を開発
- 2017 (H29) ○ ・「共鳴ラマン効果による大気中微量有害物質遠隔計測技術の開発」が
防衛装備庁「安全保障技術研究推進制度」に採択
・連続式マイクロ波加熱装置を開発
- 2018 (H30) ○ ・新型塗料「剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料」(αシリーズ)を開発
・無線式振動モニタリングシステム「スイングマインダー[®]」を開発
- 2019 (R1) ○ 電照栽培用LED光源「みどりきくぞう[®]GR」を開発
- 2020 (R2) ○ ・環境浄化技術「CaL-AL Tech.[®](カルアルテック)」を開発
・無線式CO₂モニタリングシステム「カンキマインダー[®]」を開発
・ライチスマート栽培技術の開発、初の果実生産
- 2022 (R4) ○ ・ライチの促成栽培による収穫期間の長期化技術を開発
・香川県内企業へのライチ栽培コンサルを開始
- 2023 (R5) ○ ・「超短パルスレーザーを用いたCBRN検知ライダシステムの開発」が防衛装備庁「安全保障技術研究推進制度」に採択
・「CPチェッカーM[®]3D」の販売を開始
・低コスト新型植物栽培用緑色LED光源「みどりきくぞう[®]」の販売を開始
- 2025 (R7) ○ 水素火炎可視化装置(高性能型)を開発



1980



1990



2000



2010



2010



2020

